

OECD/NEA による包括的技術報告書国際レビューの概要

1. NEA への依頼事項（レビューの視点）

- サイト選定前のジェネリックなセーフティケースとしての成熟度と技術的な準備状況を評価すること
- 最新の国際的な技術的知見と研究開発の成果が反映されているかを確認すること

2. 国際レビューチームメンバー

- (委員長) Jussi HEINONEN (フィンランドの規制機関 STUK)
- Jeheong BANG (韓国の研究機関 KINS)
- Allan HEDIN (スウェーデンの実施主体 SKB)
- Jean-Michel HOORELBEKE (フランスの実施主体 ANDRA)
- Mihaela ION (カナダの実施主体 NWMO)
- Philippe LALIEUX (ベルギーの実施主体 ONDRAF/NIRAS)
- Jens MIBUS (ドイツの規制機関 BASE)
- Rebecca TADESSE (NEA 事務局)
- Morgan PACKER (NEA 事務局)

3. レビューの経緯

- 2021年11月15日 キックオフ会議（オンライン）：レビュー開始
 - NUMO から日本の処分事業の概要説明
 - レビューの進め方の確認
- 2022年2月8日～3月25日 レビュー委員からの質問と NUMO からの回答
- 2022年6月20～24日 レビューワークショップ開催（東京）
 - レビュー委員からの最終質疑
 - レビュー委員による見解の取りまとめ
 - 公開セッションの開催とレビュー中間報告
- 2022年7～12月 レビュー報告書の取りまとめ作業
- 2023年1月 レビュー報告書公表
- 2023年春頃 レビュー報告書（日本語翻訳版）公表予定